



磐田工場 外観

- 本社所在地：東京都千代田区神田和泉町1-1-7 和泉ビル3F
- 事業概要：廃棄プラスチックの循環利用、再生プラスチックを原料とした製品の製造販売
- 常時使用する従業員：35名  
(2025年8月時点)
- 現在の売上高：14億円  
(2025年8月期)
- 法人番号：1010001146245
- Web：https://www.taiwaholding.com/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



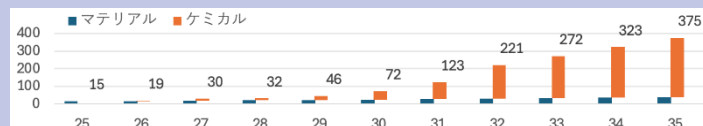
代表取締役  
徐 斌

## 循環型社会を支える原料基盤の構築へ

当社は、これまでマテリアルリサイクルを通じて廃プラスチックの再資源化に取り組み、日本国内における安定した事業基盤を築いてきました。本100億円宣言は、その成果を起点として、マテリアルリサイクルとケミカルリサイクルを両輪に、容器包装プラスチックを次世代の循環資源へと進化させる挑戦です。まずは日本国内の需要を最優先に、国内企業の製品開発を支える原料・技術・データを提供するとともに、温室効果ガス排出削減や地域雇用の創出を通じて、製造業全体へと波及する持続的な価値を創出します。その上で将来的には、欧米をはじめとする海外市場においても、高付加価値な再生原料や技術の提供を通じ、循環型産業の発展に貢献してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標



2025年以降は既存マテリアルリサイクルを基盤に安定成長を図りつつ、ケミカルリサイクルを段階的に立ち上げる。2027年より量産化を進め、処理ラインの拡充による規模拡大を通じて、2031年に目標売上高を達成し、2035年には300億円超の事業規模を目指す。

### 課題

- ・マテリアルリサイクルでは対応困難な容器包装プラスチックリサイクル残渣が、燃料化・焼却・埋立に依存している
- ・再生利用を最終段階まで担う受け皿が不足している
- ・ケミカルリサイクル開発に必要な実証原料・データが国内で不足している
- ・全国展開を見据えた安定的な処理体制と地域拠点の整備が不十分である
- ・新技術導入に対応した人材確保・育成が課題となっている

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・既存のマテリアルリサイクル事業において設備更新と工程改善を進め、生産性と収益性を向上させる
- ・容器包装プラスチックを対象としたケミカルリサイクル事業を新たな成長軸として立ち上げる
- ・国内拠点を段階的に展開し、処理能力を拡充する
- ・石油・化学企業との連携やM&Aにより、一貫体制と競争力を強化する

### 実施体制

- ・生産・技術・営業が連携するプロジェクト体制のもと、既存事業で培った運営ノウハウを活用し事業を推進する
- ・グループ企業、研究機関、関連企業と連携し、実証・評価・事業化を段階的に進める
- ・現場管理とPDCAを徹底し、安定操業と人材育成を両立する